



はじめに

平成26年9月27日、長野県及び岐阜県の県境にある御嶽山が噴火し、戦後最悪となる噴火災害が発生しました。警察は、極めて過酷な現場において、被災者の救出救助や行方不明者の捜索等の活動を実施し、警察の責務を全うしました。

我が国をめぐる国際情勢については、ISIL（いわゆる「イスラム国」）の台頭に伴い、国際テロ情勢に変容が見られました。また、北朝鮮は、複数回にわたって弾道ミサイルを発射するなど、軍事的な挑発を繰り返しました。

国内情勢については、右翼が領土問題等を捉え、抗議活動に取り組んだほか、右派系市民グループが各地で徒歩デモ等に取り組み、その過程で、右派系市民グループの活動に対して抗議する勢力とのトラブルから違法行為が発生しました。また、過激派は、組織の維持・拡大をもくろみ、反原発運動や反戦・反基地運動等に取り組みましたが、このような中、革労協反主流派は10月に飛翔弾を発射する事件を引き起こしています。

サイバー攻撃情勢については、我が国の政府機関等を標的としたサイバー攻撃が発生したほか、ソフトウェアの更新機能を悪用した新たな手口が確認されるなど、手口の悪質化・複雑化が見られました。

警察では、テロ等重大事案を防止し公安の維持を図るため、違法行為の取締り、関連情報の収集・分析、重要施設の警戒警備等に全国一体となって取り組んできましたが、28年には主要国首脳会議が、32年にはオリンピック・パラリンピック東京大会が我が国で開催される予定であることから、今後とも、総力を挙げて各種対策を推進していきます。

※ 掲載内容は、特に記載のある場合を除いて、平成26年12月末現在のものです。

※ 「焦点」は、警察庁ウェブサイトにも掲載しています (<http://www.npa.go.jp/keibi/index.htm>)。